

令和5年度「知事と市町長の円卓対話」（いなべ市）概要

- 1 対話市町名 いなべ市（いなべ市長 ^{ひおき}日沖 ^{やすし}靖）
- 2 対話日時 令和5年7月18日（火）14時00分～14時20分
- 3 対話場所 Nordisk Hygge Circles UGAKEI（いなべ市大安町石樽南2999番地5）
- 4 視察場所 Nordisk Hygge Circles UGAKEI
- 5 対話項目
(1) 地域資源を活用した交流人口の拡大と滞在型観光について

6 対話概要

対話項目（1）地域資源を活用した交流人口の拡大と滞在型観光について

（市長）

もともと、宇賀溪というのは昔から三岐鉄道が力を入れており、そして観光地ということで、バス路線も定期的にあったが、そういったブームが去ってしまい、コテージも老朽化していました。そこでノルディスクにキャンプ場としての、可能性についてお聞きしたところ、可能性はあるということでしたので、国の交付金を活用して整備ができました。やはり、発信力・営業力が必要ですので、ノルディスクのような世界的なブランドと一緒にスタートができましたことは、ありがたいと思っています。

先ほど桑名市に行ってらっしゃったということですが、昨年、フランスとイタリアだったと思うのですが、記者の方に来ていただいて、キャンプ場を見ていただきました。その後にお土産をとということで、桑名の鍛冶町で昔の刀鍛冶で包丁を作っているいとこのところにご案内しました。やはり日本の刀の技術での包丁というのは、非常にヨーロッパの方に人気がある。それに名前の刻印までしていただいて、本当に喜んで帰っていただきました。新たな連携ができればと思っています。

（知事）

三重県はインバウンドのお客さんが弱い。こんなにたくさん、観光魅力もあり、食も良いが、残念ながらインバウンドのお客さんは47都道府県のうち37位です。なかなか、おいでになっていただけないんです。先ほどお伺いしたら、4月に開業されたばかりだということだそうです。5割が愛知県からおいでになられて、2, 3割が関西圏からおいでになられて、インバウンドのお客さんもおいでになられるということですので、例えば中部空港に飛行機で入られてレンタカーでおいでにな

るとか、あるいは名古屋から電車乗り継いで、おいでになるということもあるかと思いますが。外国のお客さんは、特にこういった自然の中で生活するということが好きですので、すごくいいところになるとと思います。

それから、市長がおっしゃったように、販売力、ネームバリューは大事だと思います。そういった意味で、ノルディスクの世界的な力、ネームバリューをお使いになられて、多くのお客さんを呼ぶというのは、ちょうど南のほうで、アマンというホテルが志摩にできています。日本でアマンのホテルは三つしかありません。志摩に一つ、京都に一つ、大手町・東京に一つ。ずっと泊まり歩いている人もいるということで、志摩にもおいでになれる。ということかというと、ひょっとしたらノルディスクを泊まり歩いている人がいらっしやると、富士の裾野で一泊される方がおられて、長崎に行かれる方もおられるかもしれませんが、ここでも泊まる。それぞれの特色があると思いますので、いろんなところ泊まり歩くという、そういったネームバリューを使っただけという話もあります。そういう意味ではいいところに目をお付けになられたと思います。

長崎のノルディスクのキャンプはこことは全く違います。山の中ではありません。海辺というわけではないですが、海まで歩いて 10 分くらいで、前には田んぼが広がっている。小学校の校庭にノルディスクのテントが三張りか四張り並んでいる形。ですからここと全く違うので、山のせせらぎが近いところで、寝泊まりするというので、全く違う体験が同じノルディスクでもできると思います。

これから外国の人にもたくさん来ていただきたいので、フランスやイタリアもそうですし、記者に取材していただいて、自分の国で宣伝していただくことも大きな話だと思います。私もそういう仕事をフランスでやっていたことがありまして、フランスの取材陣を日本に送り込んで、取材をしていただいて、フランスで流していただき、多くのフランスの方に日本に来てもらう、ということもやらせていただきました。そういったことは非常に大事だと思います。

それともう一つ、周遊と連携です。日本的なものとのつながりができて、ヨーロッパの人だけに限らず、アジアの人もそうですが、日本の伝統的な文化、あるいは産物。そういったものに、例えば萬古焼、伊勢型紙、刃物もそうです。そういった興味を持っておられるので、そういったものを体験でやるというものもあると思います。もう一つは、学習というのも皆さんお好きなので、ここでのんびりするのもいいですし、例えばクラブメッド、地中海クラブのように、プログラムをいくつか作り、一日中というのはなかなか難しいと思いますが、例えば、この日の午前中のこの時間にはこんなことをやります。山の山菜をとりにみんなで一緒行ったり、一人で行くのはちょっと心もとない、あるいは家族だけで行くのは少し怖いという人に、そういったツアーを醸成したり、星もすごくきれいだと言っておりますので、その星を見ながら、あの星座はどういう星座なのかという講座、そういったものも体験の

一部としてすごく良いと思います。ここは長崎と違って、海は近くないですが、川が近いので、川で何かアクティビティができると良いと思っております。

先ほどお話を伺いましたら、これから食事をする場所も広げていかれるということで、大きく色々な展開も考えていけるのではないかなという気がします。例えば、ここに泊まる人でキャンプをする人ばかりではないと思います。ひょっとしたら火おこしのやり方を勉強したい、あるいは、ストーブでご飯を作る人もおられるかもしれないですが、飯盒炊爨のようなことをやったことがない人に体験してもらうなど、色々広がっていくような気がします。まずは、産業、レジャー、観光の種をまいていただいたこと、その芽が出て育っていくという、そういったことを見せていただき本当にうれしく思っています。ありがとうございます。

(市長)

学習ツアーという、1つのアイデアをいただきましたが、日本人であっても、植物をよくご存じの方と一緒に登山をしますと、色々な気づきがあります。ガイドは職業として成り立ってないので、ガイドというものが、職業として成り立つようなところまで持っていければと考えている。観光案内所のようなところがガイドを紹介して、人気のガイドと一緒にいくと、植物や石がよくわかるというような、専門的なお助けのようなものをプラスアルファしながら、体験にもう少し彩りをもたせるような努力を、我々もしていかなければならないと思います。

(知事)

そのとおりで、日本は通訳案内制度という法律による制度があるが、ツアーガイドがガイドとして成り立つというような点がまだ弱い。ヨーロッパはかなり先進的にやっているが、ガイドは日本でいうとボランティアのような感じです。それではやはり面白くないですし、そこの地域の発展にも、繋がらないわけではないではないですが、もっと発展していくためには、お金をいただいて、ガイドを養成していくことが大事だと思います。

熊野古道でも、和歌山県は、外国人が入っているというのもあり、ガイドをたくさん養成し始めている。三重県の場合は、今はボランティアにお願いしている。ボランティアはボランティアでいいところもあるが、そういう方向も見据えていっても良いと思っております。そうすると、ここで働かれる人が必ずしも若い人やあるいは壮年の人だけではなく、例えば川、山、花や石などを案内するのは一旦リタイアされた方でも十分やれます。そういうのはこれから広がってくると思います。もちろん、いなべ市は働かれる場所はたくさんありますが、それでもそこでずっと働いているわけではないので、引退されていなべ市に居を構えられた方が、こちらでそういった仕事もやりながら、というのは第二の人生としても良いのではないかと思います。

います。

(市長)

東海環状自動車道が来年に、いなべICと言っていますが、北勢のICが開通します。令和8年には全線開通です。この大きな転機を、観光や産業、そういった誘致にも繋げていけたらと思っております。一つの大きな転換期、きっかけになると思っておりますので、またそのアドバイス、ご尽力いただければありがたいと思っております。

(知事)

東海環状は本当に一つの大きなエポックメイキングな出来事ではないかと思えます。日沖市長とは一緒に要望も行かせていただいておりますが、一生懸命国へ要望されていまして、ようやく光が見えてきて、開通が見えてきたというところです。東海環状は、産業の道であるとともに、観光の道にもなり得ると思えます。三重県の隣の県というと、滋賀県、和歌山県、奈良県、愛知県、そして岐阜県です。岐阜県に直接高速道路が抜け出るというのは今回東海環状が初めてです。そうしますと、ここは愛知県の方がおいでになっているということですが、東海環状ができると、岐阜からもおいでになると思えます。そうしますと、ここの顧客も増えていくということになり、観光の連携もおそらくできると思えます。いなべ市に産業観光に来た方が、岐阜の観光地に行かれるということもあると思えます。その逆もあると思えます。岐阜に行かれた方が、来られてここで一泊二泊されるということもあると思えます。そういった観光の連携というのも、東海環状が繋いで、できてくると思えます。もちろん産業でも、非常にメリットがあると思っております。車体産業、車両の関係、自動車の関係の産業が岐阜にもありますが、そことの有機的な連携が東海環状によってできますので、ここの車体工場がさらに発展していくと思えますし、車両関係の、自動車関係の部品工場も発展していくと思えます。加えて、四日市港も使われているので、とても大きいと思っております。いなべ市はますます発展の可能性があるのでないかと思えますので、これからもぜひよろしくお願ひしたいと思えますし、県との連携を今もいただいておりますが、これからも連携関係をより強固なものにして、いなべ市の発展をしっかりとやっていきたいと思えます。よろしくお願ひします。